



# 彦根JC月報 5月号

編集・印刷・発行  
(公社)彦根青年会議所  
ソーシャルネットワーク  
推進委員会

## ◆◆◆ 4月度例会開催 ◆◆◆



4月6日(木)、9月2日に行う第47回滋賀ブロック大会彦根大会への意識高揚のための4月度例会を開催しました。国宝・彦根城築城400年祭の開催年であった2007年度に第37回滋賀ブロック会員大会の中心として活動された当時の理事長、実行特別委員長、実行特別副委員長の木村浩一郎先輩、堤周徳先輩、清水智弘先輩にお越しいただき、当時の苦労や手法そして前日の決起例会後のリハーサルからブロック大会当日など、主管LOMとしての意識高揚へと繋がる大変貴重なお話を聞くことができました。メンバーから先輩方への質問の中で多かったのが、経験したことのない大会に対する不安や自分のやるべきことがわからず行動が

できないことへの苛立ちでした。そこは、さすが経験豊かな先輩方。自身のご経験を基にメンバーの不安を解消し、更にその先へと導いていただき、未知なることへも積極的にチャレンジする意識が高まりました。最後に森式典部会長、北村(忠)懇親部会長から現状報告と各部会での取り組み内容そして、彦根大会への意気込みを力強く発信されました。先輩方を前に両部会長とも最大の緊張感の中で概要説明していたのが印象的でした。前回の滋賀ブロック会員大会を経験した現役メンバーはわずかですが、滋賀ブロック大会当日に向けて、決して他人事ではなく、自分から進んで行動してゆくことやブロック大会運営委員会との強固な連携を構築することが大切ではないかと思います。最後になりましたが、講師としてお越しいただいた、木村浩一郎先輩、堤周徳先輩、清水智弘先輩。また、4月度例会の準備のために先輩との何度も打ち合わせに走ったとともに、滋賀ブロック協議会への議案上程に向けて、連日昼夜問わず取り組んでこられたブロック大会実行特別委員会メンバーの皆さんお疲れさまでした。彦根青年会議所全メンバー総力を挙げて、第47回滋賀ブロック大会彦根大会を大成功に導きましょう！！(原田)

【北村ブロック大会実行特別委員長より】

このたびは4月例会へのご参加ありがとうございました。ブロック大会に向けての士気向上の契機になったと感じております。冒頭、委員長である私の独演会のような話で始まり、先輩方とのクロストークにおいてもしゃしゃり出る形になってしまいお恥かしい限りです。こうした進行になったのも、先輩と何度も何度も打ち合わせする中で、「委員長の想いが一番大事や！」と叱咤激励いただいたことに端を発します。当日も進行する中で足りない点が多くあったにもかかわらず、先輩方やメンバーの答弁に救われ、本当に有意義な例会になったと感じております。反省点は多々ありますが、本番は9月2日です！あと4ヶ月、皆さんの力が必要です。ご協力よろしくお願いいたします。



## ◆◆◆ 彦根市長選挙公開討論会開催 ◆◆◆

4月9日(日)にビバシティ彦根にて、彦根市長選挙公開討論会を行いました。公平中立な立場である団体としてこのまちの未来に対する施策を周知することで市政にさらなる関心をもっていただき、まちの発展のため市民の声を市政に反映させる一助とするために、彦根JCが彦根市長選挙公開討論会を主催するのは16年ぶりです。彦根市長立候補予定者の現職の大久保貴氏をはじめ、前川恒廣氏、田原達雄氏の三氏にお越しいただき、滋賀県立大学教授で、青年会議所が行う公開討論会に理解があり、公開討論会コーディネーターの経験豊富な大橋松行氏の進行のもと、地域経済活性化、教育、医療福祉、観光など現在の彦根市が抱える様々なテーマについて立候補予定者からの考えを聞く事ができ、また掲げられている政策をもとに立候補予定者同士の熱のこもった討論や、市民の声を聴くべく〇×形式での参加者からの意見を取り入れました。参加された皆さんも途中で退出されることなく真剣に聞き入っていたのがとても印象的でした。彦根市長選挙は4月23日に投開票が行われ、現職の大久保氏が再選となり、今後4年間の地域発展の舵取りをしていただくこととなります。彦根JCとして16年ぶりに主催した事業ですが、当日までにチラシ作成や多くの打ち合わせを行い、また公開討論会当日も午前中から会場周辺で参加を呼び掛けた地域未来創造委員会メンバーの皆さんお疲れさまでした。(原田)



### ◆◆◆まちづくり!? @ひこね とよさらだプロジェクト編◆◆◆

今月のまちづくり団体は先月号で取材させていただいた「Taga-Town-Project」さんからのご紹介の「とよさらだプロジェクト」さん(以下 とよさらだ)です。今年で活動9年目を迎えたとよさらだは、滋賀県立大学の学生が豊郷町で農業従業者の高齢化と後継者不足が進み耕作放棄された農地とビニールハウスを借りて野菜づくりを行っています。

活動の目的として①地産地消の促進や安心・安全である無農薬野菜を提供すること。②野菜づくりを体験したことのない学生に機会を与えること。③地域とのつながりの場をつくることです。団体の発足のきっかけは、授業で使っていないビニールハウスを目にした時に、先生の何気ない一言「ここで野菜を作って売ればもうかるかも!？」と聞いた、大学院で農業振興を勉強されていた船田さん(初代 代表)が先生に相談されたことがきっかけだそうです。



会計 川村さん 代表 田出さん

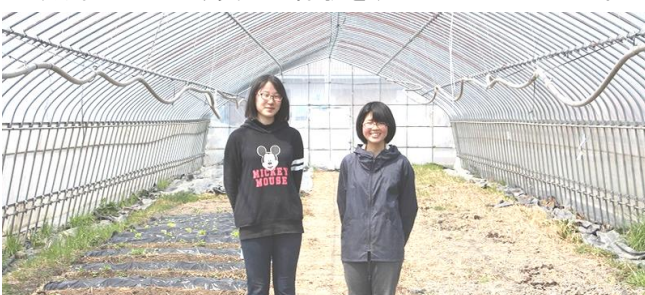


← 代々受け継がれている耕具倉庫

①地産地消の促進や安心・安全である無農薬野菜を提供するために、当番を決め、大学の授業の合間をぬって水やりをされています。取材させていただいたお二人は、大学から自転車とJRと徒歩で来られていて、雪の日の水やりが苦労したとお伺いしました。無農薬にもこだわり、定期的にとよさらだのメンバー全員で雑草を抜きにこられます。入会まもないメンバーが初めて教えてもらうことが、草刈機の使い方です。一年もしたら、また新しく入ってきたメンバーに使い方を教えたり、刈り取った雑草を燃やして焼き芋を作るぐらいたくましくなっておられるそうです。また地産地消の促進のために、

豊郷町名産の坊ちゃんかぼちゃを栽培し、JAに卸したり、その他の野菜(人参、玉葱、トウモロコシ、オクラと様々あります)は、学食のサラダにするため、学生生協や、学食に出荷したりされます。

②野菜づくりを体験したことのない学生に機会を与えるために、ビニールハウスの張り替えを昨年9月に5年ぶりに行いました。前回の張り替えを体験した現役メンバーはいないため、台風が来る前日に、地域の方々に教えていただき張り替えるという貴重な体験をすることができました。



とよさらだプロジェクトのビニールハウス

③地域とのつながりの場をつくるため、農業体験のない学生だからこそ、高齢になった地域の農家さんが自身のお孫さんと接するように親身に教えていただきながら、お米作りを種落としから田植え、栽培、収穫を通じて地域の方々と交流を深めています。

とよさらだでの経験を活かして、大学を卒業された先輩がたは、モクモクファームやJA・地域おこし協力隊に就職され、京都で版画家になられた先輩もいらっしゃいます。代表の田出さんは卒業されたら種苗関係のお仕事に就きたいと夢を語っておられました。(熊谷)

### ◆◆◆「これであなたもコンプライアンスの達人です!」◆◆◆



5月に入り、LOMの事業も本格化し、またブロック大会彦根大会も協議を終え、間もなく審議される状況となり、続々と事業系の議案が上程されてきました。その中で看板などの制作が多数あり、コンプライアンスについて確認しています。基本は参考や過去の事業から流用していることが多いと考えますが、JCIマークはバッジ、名刺、ネームプレートなど多岐に渡って使用しますので、全ての方に正しいJCIマークの扱い方を知っていただきたいと思ひます。参考文章:公益社団法人日本青年会議所『日本JCブランドガイドライン』

<http://www15.jaycee.or.jp/member/support/compliance/>

JCIコーポレートマーク 形状を変更しては ならない	NOM(LOM)表記入 り * JapanをLOM名 に変更可	アルファベットはヘルベ チカ体、日本語は太 ゴシック体	JCIマークの周囲は 地球儀1個分が空 いていること 2016年12月17日 改定	最少マークは地球儀 が認識できること
		abcd 日本青年会議所		

## ◆◆◆全国城下町青年会議所連絡協議会報告◆◆◆

4月29日(土)福井商工会議所にて、第2回役員会を開催いたしました。主に5月26、27、28日に開催される、第36回全国城下町シンポジウム福井大会(以下、福井大会)のことを審議、可決いただきました。福井大会の議案上程では、清川副会長(福井JC)から、概要及び現状についてご説明いただきました。そして、オブザーブいただきました辻武志理事長(福井JC)からは、多くのメンバーにご登録いただくとともに、福井大会に是非お越しいただき、福井の魅力をご存分に目で見、肌で感じていただきたいと、力強いお言葉を頂戴しました。役員一同、多くのメンバーを引き連れ、福井大会に参加したいと強く想いました。



また、事務局からの報告事項の一つとして、第38回全国城下町シンポジウム主管立候補の現状説明の際には、豊橋青年会議所よりご出向いただいています古越理事から、第38回の主管に向けて執行部一同必死で働きかけており、福井大会での役員会で、良い報告ができるように努めさせていただきます。というご報告をいただきました。事務局としても、主管立候補に向けて更なるバックアップを行っていく所存でございます。その後の懇親会では、福井青年会議所から多くのオブザーブご参加をいただき、福井大会についてたくさんのお話を聞くことができました。また、2013年度理事長後藤先輩から、激励のお言葉を頂戴する機会がありました。先輩や関係諸団体との強い絆で福井大会が構築されているのだと感じることができました。彦根青年会議所からも多くのメンバーで福井大会に参加しましょう！！(木田)

## ◆◆◆出向者情報コーナー—滋賀ブロック協議会「財政・規則特別会議」増田 悟士君◆◆◆



委員会での審査風景

■本年度はLOMでも、ブロックでも財政・規則を担当する委員会に所属しておりますが、LOMとブロックの違いはありますか？

LOMの常識がブロックにそのまま通じることがありません。例えば、ブロックでは予備費が設けられていますが彦根JCではありません。また、ブロックの委員会時間は短いため、短時間で確認する必要があります。そのため、委員会メンバーは集中して確認し、上程する委員長も議案をしっかり作成されています。

■出向を楽しむ方法はありますか？財政規則という審査する委員会ですから楽しむことは基本ありませんし、出向経験も少ないため楽しむ領域にまで達して

いません。むしろ楽しむことを出向の目的とするより、ブロック事業の議案を確認したり、他LOMの方とお話してLOMの考え方を知ることができ、自分自身の知識を広げることを目的としています。また、出向先には素晴らしい方々沢山おられます。そういった方々とお話する機会があり刺激を受けていることは間違いありません。自分から積極的に学ぶことができないタイプですので、出向することで学べる機会を得られていることに感謝しています。お金と時間を使っていますので実りある出向でありたいと思っています。

■卒業年度に彦根青年会議所に残したいものはありますか？

入会して4年目という短い時間で卒業しますので残せるものはほとんどないと思います。ただ、責任が希薄となっている中で自分なりに責任を果たそうとする気持ちは人よりも強いと思います。その気持ちが少しでも伝わり、出向や役職の任期が満了したときに「頑張った」と思ってもらえれば嬉しいです。卒業までまだ時間がありますので、最後まで全うできるよう頑張っていきたいと思っています。(熊谷)

## ◆◆◆理事会通信 第5回理事会◆◆◆

2017年 4月24日(月) 19:45 ~ 25:43

協議事項		
1号議案	第47回滋賀ブロック大会式典・卒庄式事業計画並びに予算(案)について	
2号議案	第47回滋賀ブロック大会大懇親会「この瞬間の出会いを大切に 更なる絆を」事業計画並びに予算(案)について	
3号議案	公益社団法人彦根青年会議所 定観一部変更の件	
4号議案	7月度(公開)例会開催	
審議事項		
1号議案	彦根青年会議所新聞新年号発行の件	全会一致
2号議案	2月度(異業種交流)例会開催の件	全会一致
3号議案	2月通常総会開催の件	全会一致
4号議案	直前理事長への感謝状および記念品贈呈式開催の件	取り下げ
5号議案	新入会会員研修～情熱と誇りを胸に いざ進もう JAYCEE～開催の件 廃案	
6号議案	第30回カロム日本選手権大会参加記念品一部変更の件	全会一致
7号議案	6月度(臨時総会)例会開催の件	取り下げ

### ■第4回理事会を終えて

新聞新年号報告書の承認ありがとうございました。本来なら第4回理事会に上程すべき報告書でした。以後このようなことがないように事前準備をしっかりと行っていきます。

ソーシャルネットワーク推進委員長 澤 明紀

## ◆◆◆メンバー情報◆◆◆ ◆◆◆コーナー◆◆◆

お誕生日 S56. 5. 8 福澤 俊治  
お誕生日 S52. 5. 16 笠原 慎太郎  
お誕生日 S61. 5. 16 福沢 和喜  
お誕生日 H 4. 5. 18 西川 隼世  
お誕生日 S53. 5. 31 北村 喜史

5月生まれのメンバー

おめでとうございます！

## ◆◆◆委員会掲示板◆◆◆

<b>総務委員会</b> 6月度(臨時総会)例会にて2018年度の理事長候補者・監事候補者が発表です！次年度の大きな担いを受けられる候補者を多くのメンバーでお祝いしましょう。	<b>財政規則特別委員会</b> これから彦根JC伝統事業であるカロム大会、写生大会が始まります。計画通りに実行し、予算が効果的に使用されているか確認しながら事業に参加してまいります。
<b>ソーシャルネットワーク推進委員会</b> 第30回カロム日本選手権大会大会まであと42日！5月24日には彦根青年会議所メンバーと協力団体のカロム説明会がありますのでよろしくお願いいたします！	<b>ブロック大会実行特別委員会</b> 4月度例会へのご参加ありがとうございました。先輩方の当時の熱い想いに触れることができ、9月2日のブロック大会に向けて一丸となれる契機になったと思います。
<b>会員活性委員会</b> 今月は、全城シンと、写生大会ですね～。と言う事は当然懇親会もありますね。おおいに盛り上げていきますので、皆さんご参加よろしくお祈いします。	<b>会員拡大特別委員会</b> JCの魅力とは経験、出会い、繋がりなどがあり、メンバーが増えるほど各々が受けるメリットが大きくなります。後期入会に向けてご協力お願いいたします！
<b>地域未来創造委員会</b> 彦根市長選挙公開討論会にご参加いただいた皆さんありがとうございました。初事業で不安もありましたが緊張はしませんでした(笑)次は写生大会よろしくお祈いします！	<b>特別柱</b> 会員活性委員会副委員長の野淵です。最近事情により参加できていませんが、彦根ばやし総踊り、7月度例会としっかり頑張ります。皆様もご協力よろしくお祈い致します。

## ◆◆◆写生大会2017～お祝いしよう彦根城～◆◆◆

5月14日(日)9:00～16:00 &lt;予備日5月21日(日)&gt; 場所:彦根城城山一带

写生大会2017～お祝いしよう彦根城～を5月14日(日)に開催致します。写生大会開催当初より数えて50年目(48回目)の記念大会でもあります。さて記念すべき本年度の取り組みは、国宝彦根城 築城410年を、写生大会参加者とともにお祝いしたいと考えます。また、国宝彦根城410年祭ロゴを市内の小学生と協力して手形にて作り、彦根城の魅力や愛郷心を養い育み、ともに彦根城をお祝いしましょう。表彰式はビバシティ彦根1Fセンタープラザで6月25日(日)10:30～12:10で行います。入選作品の展示は6月25日(日)～7月1日(土)10:00～20:00で最終日は16:00まで。



## ◆◆◆第30回カロム日本選手権大会◆◆◆

6月18日(日) 9:00～17:00 (ダブルス受付 9:00～9:30)(シングルス受付 11:30～12:30) 彦根市民体育センター



## 「びわ湖放送にてカロムのTV特集が始まりますよ!」

びわ湖放送、キラりん滋賀(水)放送で6月18日(日)に開催の第30回カロム日本選手権大会に向けてMCの西田さんがカロムに挑戦するストーリー仕立ての番組「カロム道」が放送されます！小学生相手に道場破り！日本カロム協会に道場破り！など大会に向けて挑戦されていくコーナーです。



放送スケジュール(毎週水曜日予定) 18:15～18:50

5月10日、17日、24日、31日 6月7日、14日、21日、28日 7月5日、12日、19日、26日

## ◆◆◆編集後記◆◆◆

カロム大会、報告書、褒賞申請と実働も含めてんてこまいの澤です。段々と記事を書くことや写真の撮影にも慣れて来ましたが、まだまだ不甲斐なさを痛感する毎日です。諸先輩方も行われて来たことだと思つとJCの奥深さを感じます。少しずつ積み上げていく毎日に疲労と睡魔が合わさり、何とも言えない充実感を感じますがはたして自身の成長につながっているのでしょうか……成長につながっていると信じ修練は続きます。これから5月(臨時総会)例会、写生大会、カロム大会と夏に先駆けてJC熱が沸騰し始めますが、この熱さに負けないよう奮闘して参ります！(澤)